

我をわすれて

たゞめり

金剛石

われはいとひぬ

花のため

けにも恐れぬ

鳥のため

されど夏たつ

今日よりは

そのゆふ風の

したはしき

夜路

小林つね

一、暗き山路にふみまよひ

便らひ路をたづねつ、

木かけ出ればあなうれし

燈火つゝく町の軒

二、なれぬ旅路にさまよひて

たよらひ方も白雲の

空飛ぶ星に誘はれて

はつかに見ゆる人の家

萬物中最も高價なるものはなにぞ、と同はゞ、
われは金剛石と答へん。萬物中最も堅硬なるもの
は、と問はゞ、われは金剛石と答へん。
この貴き金剛石は、初はいかなる處にあるか、
といふに、あるは品形をなし、あるは顆粒状とな
して、蠻石又は稜蠻石中に産し、又川底の砂礫の
中にまじりて存す。さて、產地にて古來有名なる
は、東印度、ボルチヲ、ブテジルなどなり。
金剛石は、初よりうるはしき光をはなてるか。
いな、金剛砂もてみがきて後は、じめて光を放ち、
寶石としての價を増すものなり。金剛石のたゞと
まるゝは、實に其光線反射の著しきと、光彩の美
なるとによるといふ。其色は、無色透明のもの最

なでしこ